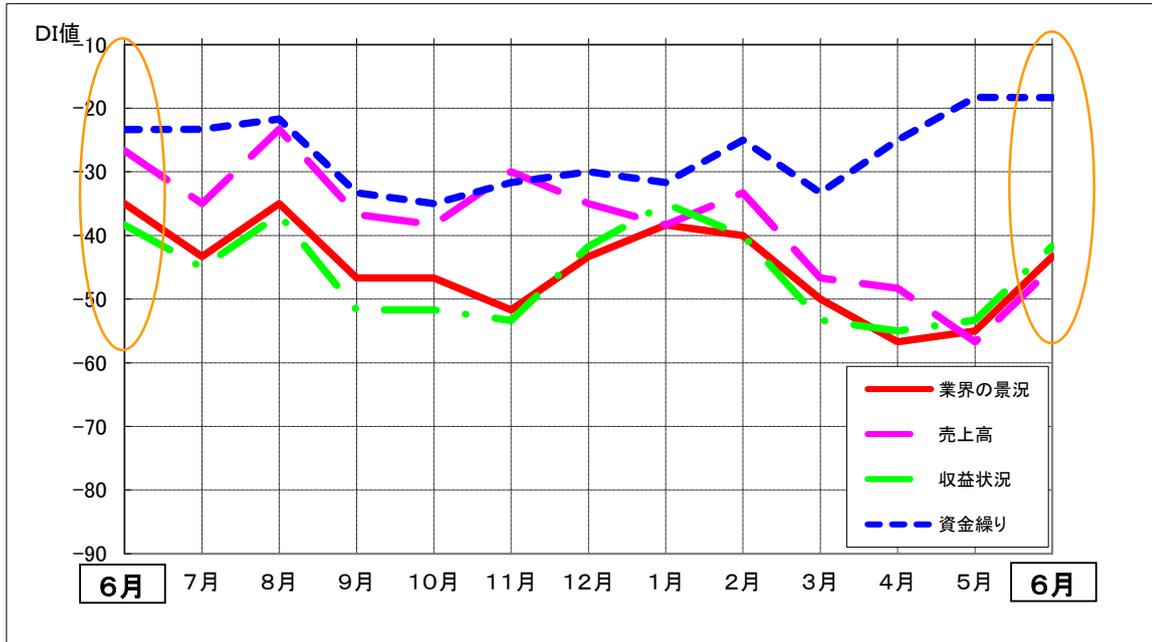


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成22年6月～平成23年6月

単位:ポイント



	H22						H23						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-35.0	-43.3	-35.0	-46.7	-46.7	-51.7	-43.3	-38.3	-40.0	-50.0	-56.7	-55.0	-43.3
売上高	-26.7	-35.0	-23.3	-36.7	-38.3	-30.0	-35.0	-38.3	-33.3	-46.7	-48.3	-56.7	-45.0
収益状況	-38.3	-45.0	-36.7	-51.7	-51.7	-53.3	-41.7	-35.0	-40.0	-53.3	-55.0	-53.3	-41.7
資金繰り	-23.3	-23.3	-21.7	-33.3	-35.0	-31.7	-30.0	-31.7	-25.0	-33.3	-25.0	-18.3	-18.3

○6月のDI値は前年同月に比べ、3項目が悪化した。「業界の景況」DI値は8.3ポイント、「売上高」DI値は18.3ポイント、「収益状況」DI値は3.4ポイントとそれぞれ悪化し、「資金繰り」DI値は5ポイント改善した。製造業と非製造業との比較では、非製造業の方が「業界の景況」で14.3ポイント、「売上高」で17.4ポイント、「収益状況」で17.9ポイントと低い値を示しており、前月と比べてその差は売上高で42ポイント縮まった。なお、前月比で見ると、「業界の景況」、「売上高」はともに11.7ポイント、「収益状況」は11.6ポイントとそれぞれ改善し、「資金繰り」は変わらなかった。製造業では受注の減少、非製造業では売上高の減少傾向が根強く、収益状況を圧迫している。多くの業種で節電への対応や夏場の電力不足を課題とし、それに伴う今後の受注・消費動向を懸念する声が多い。

○組合の特記事項からは、東日本大震災の影響が様々な面で生じていることが指摘されており、製造業では、鉄鋼・金属製造業、一般機器製造業を中心に受注が減少している、また節電への対応や電力の使用制限に苦慮しているという声があった。非製造業では、商店街、サービス業を中心に、消費活動の停滞により売上が減少しているという声が多い。